

こんびら参りの人々で にぎわった街道の休憩所

善通寺綾歌線と丸亀三好線との交差点を東に進み、最初の交差点を北に入ると、左手に黒住教与北集会場の建物があります。ここに与北の茶堂がありました。

この場所は丸亀から^{こんびら}金毘羅街道のなかほどにあり、こんびら参りが盛んだった江戸時代から、旅人が弁当を食べたり休んだり、世間話をしたりする休憩所でした。金毘羅参詣を記した書物や絵図にはその様子が紹介されています。

敷地内には、馬に乗るための騎乗石や^{しるがわら}印瓦（こんびらさんの印が入った瓦）、「丸亀入口迄是ヨリ七十五丁」と書かれた石の道しるべが残っており、文政11（1827）年に寄進されたという丸亀街道最大の金毘羅灯籠もあります。用水路の北の角にも金毘羅大権現への奉納灯籠と「七十丁」と彫った道しるべが立っています。

善通寺には、丸亀街道のほかにこんびらさんに魚などを運んだ「さかな街道」、多度津に上陸した人々がこんびらさんに向かった多度津街道もあり、旅の人々でにぎわっていました。



現在の建物は黒住教与北集会場です。



大きな金毘羅灯籠。一度倒壊しましたが、地元の人々の手によって復元しました。



■与北町692

●JR善通寺駅から車で約7分。

ここから南へ向かう道が昔の金毘羅街道。